



とり はね 鳥にはどうして羽があるの

とり はね へんか 鳥の羽は、うろこが変化したもの

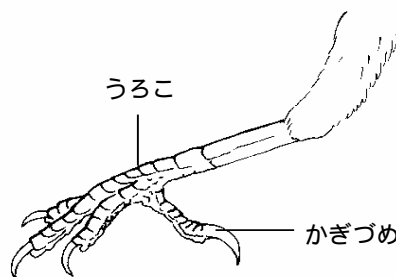
とり ちきゅうじょう あらわ はね いま おく まんねんまえ ちきゅう
鳥が地球上に現れたのは、今から1億5000万年前だったようです。地球にバクテリ
アのような生き物が現れてから、長い長い年月に、少しずつ複雑な体のしくみをもつ生き
ものが現れてきました。恐竜時代といわれる「は虫類」がたくさん出現して栄えたころ、
とり せんぞ う ちゅうるい なかま
鳥の先祖が生まれました。は虫類の仲間には、ワニやトカゲやカメなどがいます。

ニワトリの足をよく見ると、羽毛のない部分や足の指のあたりに、うろこのようなものが見えます。これは、は虫類からニワトリが進化して現れた証拠です。鳥の羽毛は、は虫類の体中をおおっていた、うろこが変化したものだといわれています。

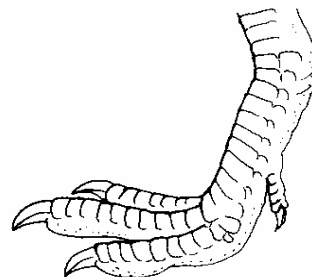
はね い 羽があるから生きのびた

きょうりゅうじだい ちきゅう きこう きゅうげき へんか きおん さ たいおん いったい たも
恐竜時代のおしまいごろ、地球の気候が急激に変化し、気温が下がり、体温を一定に保
てない変温動物の、大型は虫類、「恐竜」は、ほろびてしまったといわれています。そ
のとき生き残ったのが、体温を一定に保つことができ、毛皮や羽毛で寒さを防げる体のつ
くりをもつ、とり にゅうるい
鳥や、ほ乳類だったのです。

とり はね そら と はったつ おも がくしゃ さむ ふせ
鳥の羽は、空を飛ぶために発達してきたと思われませんが、学者のなかには、寒さを防ぐた
めに発達してきたのだと考えている人もいます。（監修・今泉 忠明）



カラスの足



鳥に似た恐竜オピラプトルの足

